

## 会議録（概要）

会議の名称	令和6年度第1回佐渡市都市計画審議会
開催日時	令和7年1月24日（金） 10時00分開会 10時50分閉会
場所	金井コミュニティセンター 2階 大会議室
議題	・佐渡都市計画下水道の変更について（佐渡市決定）
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>＜佐渡市都市計画審議会委員＞</p> <p>委員（出席14名／委員総数14名）</p> <p>会長 長谷川 英夫 （知識経験のある者）</p> <p>委員 遠藤 芳輝 （〃）</p> <p>小田 拓哉 （〃）</p> <p>山本 卓 （市議会議員）</p> <p>荒井 真理 （〃）</p> <p>山本 健二 （〃）</p> <p>浅野 英明 （関係行政機関の職員）</p> <p>安藤 善紀 （〃）</p> <p>猪羽 卓爾 （市民）</p> <p>金子 真弓 （〃）</p> <p>齊藤 勝範 （〃）</p> <p>高松 登 （〃）</p> <p>中川 進 （〃）</p> <p>深井 真喜 （〃）</p> <p>＜佐渡市役所＞</p> <p>副市長 鬼澤 佳弘</p> <p>建設部長 佐々木 雅彦</p> <p>事務局 (建築住宅課)</p> <p>課長 大上 貴幸</p> <p>課長補佐 古屋野 知規（住宅・都市計画係）</p> <p>主任 中山 秀也（〃）</p> <p>(上下水道課)</p> <p>課長 森川 浩行</p> <p>課長補佐 増家 由季</p> <p>係長 堀部 裕幸（下水道工務係）</p>

会議資料	令和6年度第1回佐渡市都市計画審議会資料
傍聴人の数	2人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>1 開会        • 古屋野課長補佐から会議の開会</p> <p>2 挨拶        • 鬼澤副市長より挨拶</p> <p>3 委員の紹介        • 委員及び事務局員の紹介</p> <p>4 会長の選任        • 事務局案が承認され長谷川委員を選任</p> <p>5 議題：佐渡都市計画下水道の変更について（佐渡市決定）        • 両津処理区        佐渡市公共下水道（両津処理区）において、雨水計画を策定し、公共下水道事業として整備していくものとなったことにより、下水道の排水区域及びその他の施設（雨水ポンプ場）を追加する。        • 国府川処理区        佐渡市公共下水道（国府川処理区）において、長石北都市下水路及び四日町都市下水路の都市下水路としての位置づけを廃止し、公共下水道事業として整備していくものとなったことにより、下水道の排水区域を変更する。また、都市計画運用指針により定められる都市計画に位置付ける下水道の要件に該当しない管渠（排水面積1,000ha未満の管渠）の位置づけを廃止するため、一部幹線を廃止すること、また、計画汚水量の見直しにより、現状、マンホール形式のポンプ施設で十分対応可能であり、将来的にも用地を要するポンプ場の敷設は不要とみられるポンプ場の都市計画の位置づけを廃止するため、一部ポンプ場の都市計画の位置付けを廃止することにより、下水道の下水管渠及びその他の施設（ポンプ場）を変更する。</p>

	<p>〈委員からの意見、質疑〉</p>
荒井委員	説明資料にある変更の計画書で、もう一度説明してほしい。
増家課長補佐	(変更の計画書で説明)
中川委員	変更の計画書を見ると、「排水区域は総括図表示のとおり」、「区域は計画図表示のとおり」となっているが、この資料が無いためによく理解ができないのかと思うのだが。
増家課長補佐	(総括図を表示して説明)
荒井委員	上屋が無いものを計画から除外と言ったが、上屋が関係あるところは?
増家課長補佐	上屋は図のポンプ場を表す●のところで、当初の都市計画では全て用地を取得してそこにポンプ場を建てる決定していたが、現在はマンホールポンプにより用地を取得しなくても能力として問題が無いということになったので、用地を買って計画に載せるような施設が必要なくなったということ
山本(健二)委員	長石、四日町の国府川の流れるところに、砂が堆積して流れないようになるのは何でもないのか
増家課長補佐	定期的に維持管理しているほか、必要に応じて対応している。頻度については資料を持ち合っていないため、この場ではお答えできない。
中川委員	単純に計画からは削除する。計画にはないが、この後の維持管理等には何も支障ないという考え方でよいか
増家課長補佐	施設そのものの能力が下がるということではなくて、都市計画に載せる必要がないだけ、載せる必要があるものが変わったということ
荒井委員	両津処理区の雨水計画区域の追加は、昨年1月1日に震度5強で液状化により陥没するとかあったと思うが、そういうことを加味したうえで計画は立てられているか。暗渠のようにしてしまうよりも埋立地という特殊な場所を加味したうえでの計画になっているか?

増家課長補佐	<p>今回の雨水計画については直近10年の雨水被害で区域決定した。          特に地震によって区域が広がったということはない。          今入っている側溝や水路できちんと排除ができるようなら特に整備は行わない。能力が足りなくて何か側溝を追加したりなど対応する際には、きちんと地盤も含めて調査したうえで整備を行う。暗渠か開渠かについてもその土地の地質にあったものを整備するという考え方</p>
長谷川会長	<p>総括図はもらえるか? ⇒ 後日送付する。</p> <p>議件の可否について決をとる          原案のとおり了承することに全員が挙手</p>
事務局	<p>答申案を配布、朗読          &lt;答申&gt;          • 原案のとおり可決。</p>
長谷川会長	<p>本案のとおり答申することに異議ないか          (異議なし)</p> <p>案のとおり答申する</p> <p>6 その他          • 特になし</p> <p>閉会          • 佐々木建設部長より挨拶</p>